「全国瞬時警報システム(Jアラート)全国一斉情報伝達訓練」

避難所、避難場所等に設置している防災行政無線の屋外拡声スピーカーについて、地震・津波や武力攻撃等の発生時に備え、全国一斉情報伝達訓練が行われます。

なお、災害発生等の理由により急遽日時の変更または中止する場合があります。最新情報は、市ホームページをご確認ください。

時 10月6日㈬11時
場 市内全域
放送内容
♪上りチャイム
「これは、Jアラートのテストです。」×3回
「こちらは、半田市です。」
♪下りチャイム
問 防災交通課 ☎84-0626

講座・イベント情報誌

10月から令和4年3月までに行われる各種講座やイベント情報を掲載した冊子を市内公共施設に設置しました。ぜひご活用ください。

設置場所 市役所、雁宿ホール、図書館、市民交流センターなど
※市ホームページでもご覧いただけます。

問 生涯学習課 ☎23-7341

HANDA de SUSHI TAVERIN

11月1日は半田で「すし」食べりん♪

だし丸くん コラム 03

暑さも少しずつ和らいできましたね。みなさん、11月1日は、お店で、お家で「すし」を楽しむのはいかがですか。なぜ11月1日に「すし」なの?と思った方も多いのではないでしょうか。実は、昭和36年から、「全国すし商生活衛生同業組合連合会(全すし連)」が『11月1日』を、「全国すしの日」と定めているんです。諸説ありますが、11月ごろは新米が収穫されて魚にもたっぷり脂がのるなど、1年で最も美味しいすしネタが揃うことがその理由とされています。確かに、秋はサバやマグロ、うなぎなどが美味しい季節ですよね。

半田とすしの関連は、日本酒の製造工程で出る、本来なら捨てるはずの酒粕を原料とした粕酢づくりが始まった江戸時代まで遡ります。半田でつくられた粕酢は半田運河から江戸に運ばれ、半田の粕酢は風味や旨味が、握りずしに合うと江戸で評判になり、また米酢より安価な粕酢を使うことで、庶民にも親しまれ、すしブームの火付け役となりました。現在、市内には、「握りずし」「箱ずし(押しすし)」を提供するお店はもちろん、江戸時代の握りずしのレシピをもとにミツカン創業時の粕酢「三ツ判®山吹®」を使って現代版にアレンジした「尾州早すし」を提供するお店もあります。

ぜひ「すしの日」を機会に、家族ですしづくりを楽しんだり、カウンター席で食べるすしに初挑戦してみたり、新しいすしの楽しみ方を見つけてみてくださいね。市内のすし提供店舗の情報など、より詳しく知りたい方は、「すしぼん」や尾州早すしのチラシなどもチェックしてみてください。

すしぼんは11月にリニューアルします♪

時とき 場場所 対対象 定定員 内内容 講講師 料料金 持持ち物
申申込み 問問合わせ ☎電話 FAX FAX ✉メール QR QRコード